

## 6-5.武・田上地区

### (1)地区の概要

本市中央部西側に位置し、新川、脇田川の上流域の平坦地、丘陵部の住宅団地、西部の山地で構成されています。

人口は約5万8千人で減少傾向にあり、本市の平均的な人口構成となっています。



### (2)緑に関する現況と課題

新川上流域の豊かな自然環境や鹿児島中央駅西口から眺望できる斜面緑地などの市街地における貴重な緑が残されており、緑被率が42.0%と、市全体の69.2%よりは低いが、比較的緑に恵まれています。

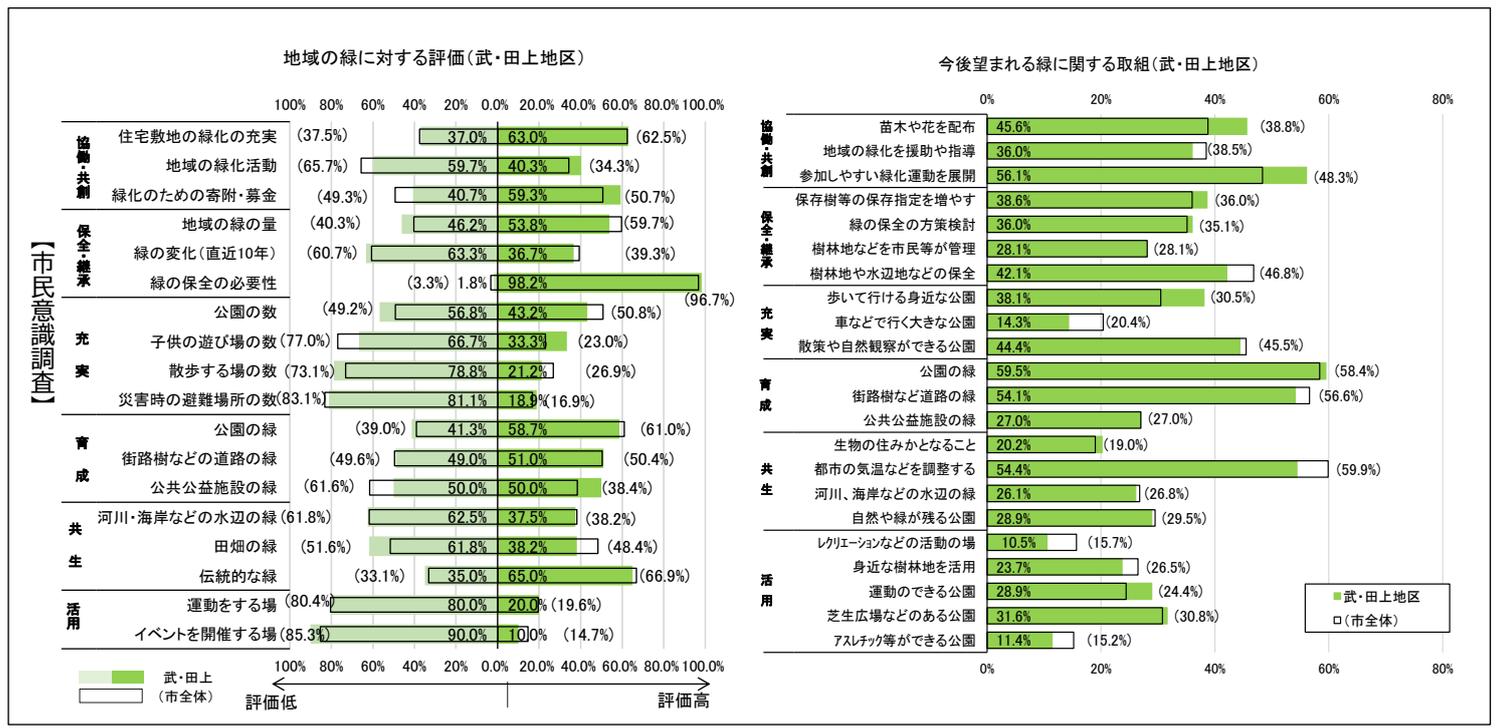
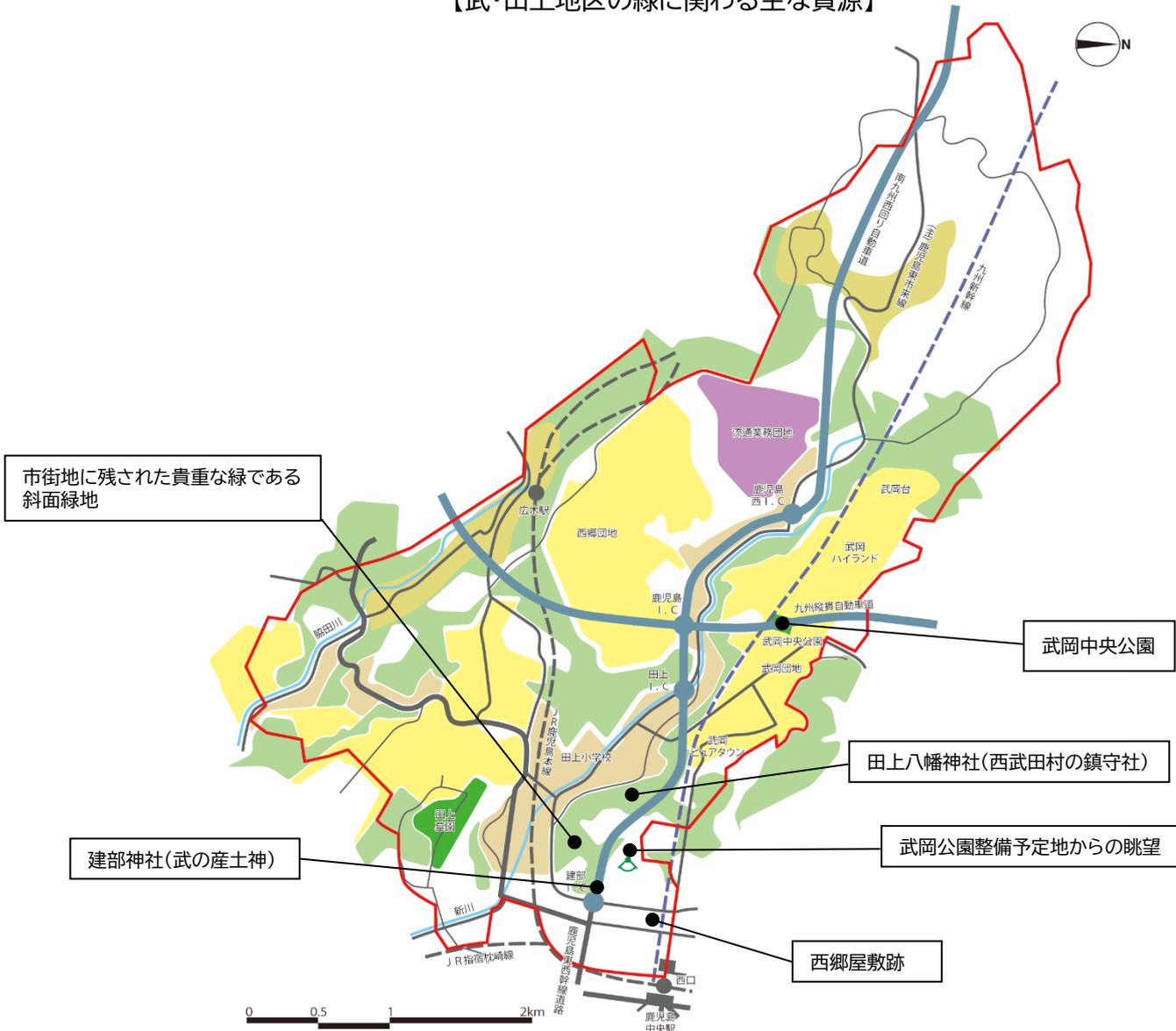
一方、地区内の都市公園は102箇所あり、1人当たりの都市公園面積は5.0㎡/人と、市全体の7.9㎡/人に比べ低い状況にあります。斜面緑地上部からの優れた眺望や自然環境を生かした武岡公園の整備が進められるとともに、新川沿いの田上小学校周辺では、生活環境の改善に向けて土地区画整理事業が検討されています。

市民意識調査結果をみると、「緑の保全が必要」と考える市民の割合が高く、「イベント」や「運動をする場」、「災害時の避難場所」としての公園・緑地が少ないと考えている市民の割合が高くなっています。また、「公園の緑」の育成・創出や「参加しやすい緑化運動の展開」を望む市民の割合が高くなっています。

武・田上地区の特徴的な結果としては、市全体と比べ、「子供の遊び場の数」、「公共公益施設の緑」が充実していると感じている市民の割合や「田畑の緑」が少ないと感じている市民の割合が10%以上高くなっています。

これらのことを踏まえ、市街地に残された貴重な自然環境を保全するとともに、身近な緑の育成・創出や市民等との協働・共創による緑化の促進、武岡公園の整備などによる公園・緑地の充実が必要であると考えています。

【武・田上地区の緑に関わる主な資源】



(資料) 第二次鹿児島市まちと緑のハーモニープランの策定に関する市民意識調査(令和2(2020)年度)

### (3) 緑に関する方針(武・田上地区)

#### 武岡公園の整備などによる市民のふれあい空間の充実

新川上流域の豊かな自然環境や市街地に残された貴重な緑の保全を図るとともに、街路樹などの身近な緑の育成・創出や市民等との協働・共創による彩り空間を創出するほか、優れた眺望等を生かした武岡公園の整備などによる市民のふれあい空間の充実を図ります。

### (4) 基本方針ごとの主な施策・事業

#### 〈1. 協働・共創〉

- 花と緑の彩り活動の促進
- 公園愛護活動や街路樹愛護活動の普及拡大
- 地域コミュニティによる公園管理の促進（天神公園、武岡東公園、武岡ハイランド第一公園等）

#### 〈2. 保全・継承〉

- 緑地保全制度の活用（河川区域、森林整備計画に基づく取組）
- 斜面緑地保全方策の検討
- 保存樹等の保護の推進（田上八幡神社境内、西郷野屋敷跡）
- 緑の維持・保全によるうるおいのある都市景観の形成等の推進
- 緑の維持・保全による防災・減災等の推進

#### 〈3. 充実〉

- 緑のシンボル拠点の公園等の整備・充実（武岡公園の緑地保全と整備）
- 公園・緑地の歴史的資産の維持・保全（西郷公園）
- 公園・緑地のバリアフリー化等の推進
- 公園施設長寿命化計画の推進
- 地域の実情に応じた公園・緑地整備の推進  
（民有地等の借上げによる公園整備、総合設計制度による緑地の創出等）

#### 〈4. 育成〉

- 民間施設の屋上・壁面緑化の促進と制度拡充の検討
- 街路樹及び公園樹の再生（質の転換）
- 地区計画の活用による緑化の促進  
（武岡台地区、武岡ピュアタウン地区、シャイニーヒル広木地区等）
- 公共施設の屋上・壁面緑化等の推進
- 学校校庭の芝生化等の維持・保全  
（西陵小、武小、田上小、武岡小、武岡台小、向陽小、広木小、西陵中、武中等）

#### 〈5. 共生〉

- 学校や地域における環境学習・環境教育の促進

#### 〈6. 活用〉

- 企業等による公園・緑地等の活用（武岡公園）

【武・田上地区の緑の方針図】

